

令和元年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価（案）に対する意見及び対応案

※資料1-1において、修正箇所は朱書きにしています。

No	該当箇所	意見の内容	対応案
1	1 頁 I (1)① 1 点目	「親しまれている」 →「認識されている」 ※すぐ後に稼働率が低いことへの言及があるため。	左記のとおり修正
2	1 頁 I (1)① 3 点目ほか	「若手」「若者」「若年層」という言葉が使われているが、可能な限り統一してはどうか。	「若者」に統一
3	3 頁 II ③ 3 点目	「増大」→「拡大」	左記のとおり修正
4	3 頁まとめ	2 段落目、3 段落目の趣旨が伝わりにくい。	「また今後も、地域コミュニティ組織と市民活動団体をはじめとした、幅広い分野、団体のニーズや特性を把握し、継続的、実践的な協働関係につなげられるようマッチングしていただきたい。 併せて、UMECOを利用していない市民や、交流エリアを利用している若者、事業に参加していない団体やNPO法人等、PRの余地が残されていたり、取り込むことにより事業の活性化が期待できる層に対する、それぞれに応じた働きかけの強化を望む。」→ 「また今後も、地域コミュニティ組織と市民活動団体をはじめとした多様な主体のニーズや特性を把握し、協働による相乗効果を引き出せるようにマッチングしていただきたい。 併せて、特にUMECOを活用していない若者や団体、NPO法人に対する働きかけの強化を行い、事業の活性化を図っていただきたい。」